

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 月 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション III English Communication III		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2M15	科目分類	外国語科目 (英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /オフィスアワー:授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 (500 文字) 授業のねらい: 医療現場における実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に付ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。患者とのコミュニケーションに対する意欲を持ち、思いやりを持って、自主的に話せるようになることを目的とする。 授業方法: ダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。リーディングとライティングの問題を解き、解説を行う。 授業到達目標: 専門的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文、文法、表現について理解を深めることができる。正確で美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べることができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に付け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心や興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。医療現場における専門的な会話を通して、医療の本質の理解を深め、人間としての優しさを養うことができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字) 授業内容(概要) 専門的な医療英語を解説するとともに、その場で習得していく。医療従事者と患者の、典型的なダイアログについて、CD を聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現を習得するにおいても容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、習得を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習をし、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。ダイアログの背景について解説する。英会話と医療におけるコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。リーディングとライティングの問題を解説し、その技法を指導していく。 第1回 導入・授業内容の説明 Chapter 1 第2回 Chapter 1 第3回 Chapter 2 第4回 Chapter 3 第5回 Chapter 4 第6回 Chapter 5 第7回 Chapter 6 第8回 Chapter 7 Review Test 1 第9回 Chapter 8 第10回 Chapter 9 第11回 Chapter 10 第12回 Chapter 11 第13回 Chapter 12 第14回 Chapter 13 Review Test 2 第15回 授業のまとめと定期試験 毎回の授業で1Chapter 分を進める予定ですが、Review Test 1 & 2 は、自主的に解いておきましょう。 テキストの巻末にある、専門的な表現集と人体図を覚えるようにします。 また、必ず予習をして授業に臨んで下さい。必ず単語の意味を調べ、各 Chapter の問題を予め解いておきましょう。付録のCD を利用して繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。大いに活用して下さい。			
キーワード	医療現場で用いられる実用的な英会話・専門用語・コミュニケーション能力の養成		
教科書・教材・参考書	English for Medicine 『医療・看護のためのやさしい総合英語』(CD 付き) (西原俊明 西原真弓 Assunta Martin 著: 金星堂)  英和辞書を必携すること。		
成績評価の方法・基準法	定期試験を筆記で行います。 主に定期試験の得点により評価をします。それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。 必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標	有用な英会話を学び、役立てる。 医療英語を習得する。		
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。 予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		